

「働く」に関する2万人調査 2025

シニア就業Vol.1 定年退職後の就業者の実態

— 定年退職後の仕事満足度に影響するものは何か —

本レポートは、インディードリクルートパートナーズが実施した「『働く』に関する2万人調査 2025」の中から、定年退職を経験し、現在就業している60歳以上の方に焦点を当ててまとめたものです。

人口減少が進む中で、シニア世代の活躍はますます重要性を増しています。現在、企業には65歳までの雇用確保が義務付けられていますが、65歳以上でも4人に1人が就業している状況です（出典：総務省統計局「労働力調査 2024年」）。一方で、定年前後で給与が大幅に減少したり、仕事内容が大きく変わったりするケースも多く、働き手のモチベーション維持には課題が残っています。シニア就業者がより高い満足感を持って働き続けるためには、どのような環境や制度が必要で、定年前にどのような準備をしておくのでしょうか。これらを明らかにすることを目的として分析を行いました。シニア就業者の方はもちろん、これから定年を迎える方、そしてシニア雇用に取り組む企業にとって、有益な情報となれば幸いです。

【主なポイント】

- ✓ 定年前と同じ会社で就業しているか、違う会社で就業しているかによって、現在の仕事満足度に大きな差はない。（P9）
- ✓ 給与や賞与、人間関係や職場の雰囲気、仕事内容が希望通りであれば仕事満足度も高い。一方、勤務地、勤務時間が希望通りでも仕事満足度は他と比べて低い。（P9）
- ✓ 現在の仕事満足度が高い人は、定年後やシニア期の就業に向けて、「基本的な能力を身に付け始めた」「心身の健康づくりを始めた」「希望の働き方ができる会社を探し始めた」といった準備をしている傾向にある。（P10）

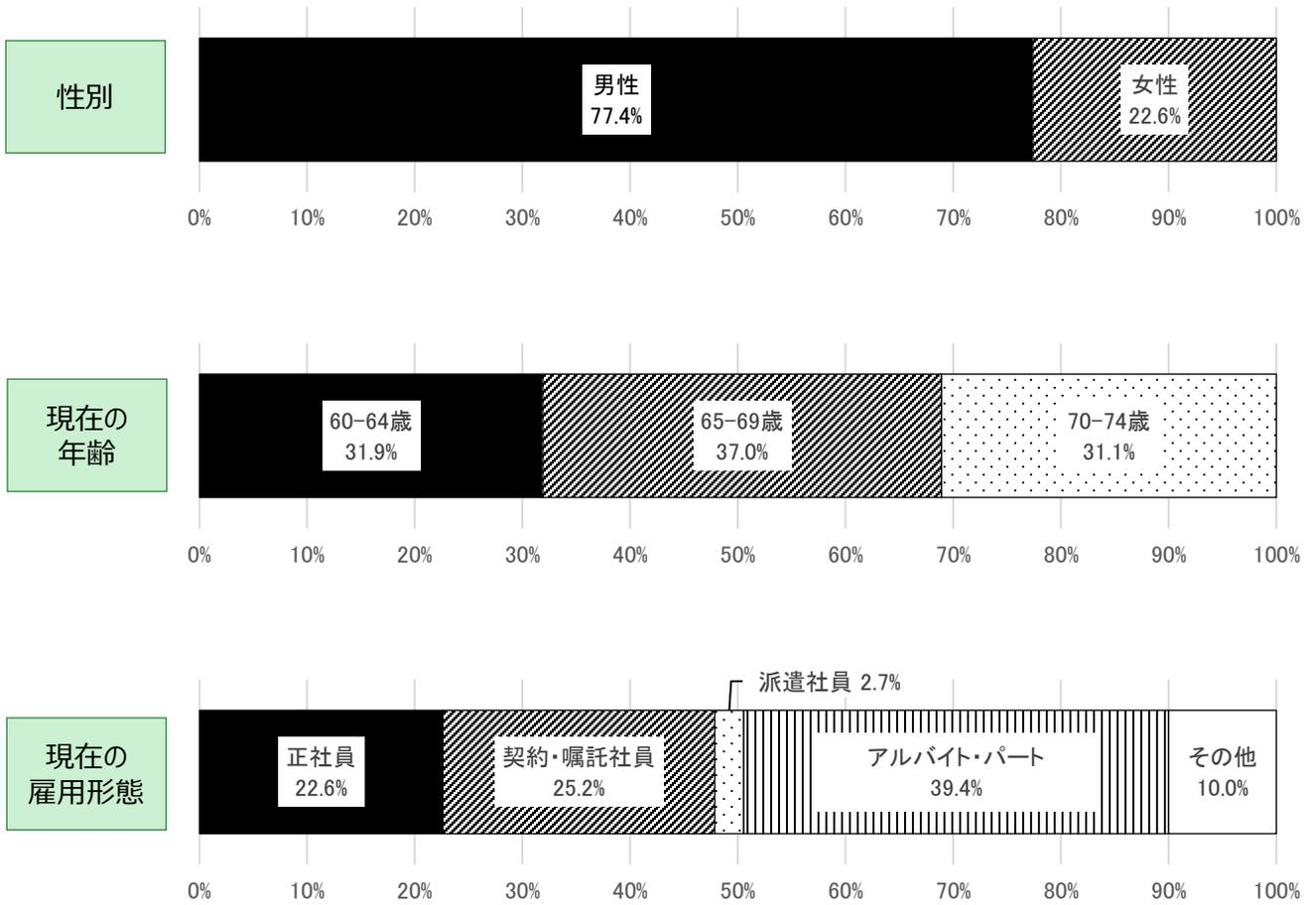
目次

調査概要	1
回答者プロフィール	2
定年直後の就業状況	3
定年直後の就業状況：定年前と同じ会社で就業している理由	4
定年直後の就業状況：定年前と違う会社で就業している理由	5
現在の就業状況	6
定年前と現在の働き方の変化	7
現在の仕事満足度	8-9
定年後やシニア期の就業に向けた準備	10
何歳まで働きたいか	11-12

調査概要

- 調査名 : 「働く」に関する2万人調査 2025
 - 調査目的 : 労働市場における個人の求職意欲や求職活動の実態を明らかにする。
 - 調査手法 : インターネット調査
 - 調査期間 : 本調査 2025年1月15日（水）～2025年1月21日（火）
追加調査 2025年2月18日（火）～2025年2月19日（水）
 - 調査対象 : 全国18歳～74歳の男女。
このうち、**定年退職を経験し、現在就業している60歳以上を本レポートの分析対象**としている。
 - 有効回答数 : 20,634人（そのうち、**本レポート分析対象は928人**）
- ※ 設問ごとに回答対象者を限定している場合があるため、各集計軸の回答者数の合計は全体の回答者数と一致しないことがある。グラフと数表内の数値は集計結果の小数第2位を四捨五入して表示している。
- ※ レポート内では「定年退職」を「定年」と省略して記載している。

回答者プロフィール (n=928)

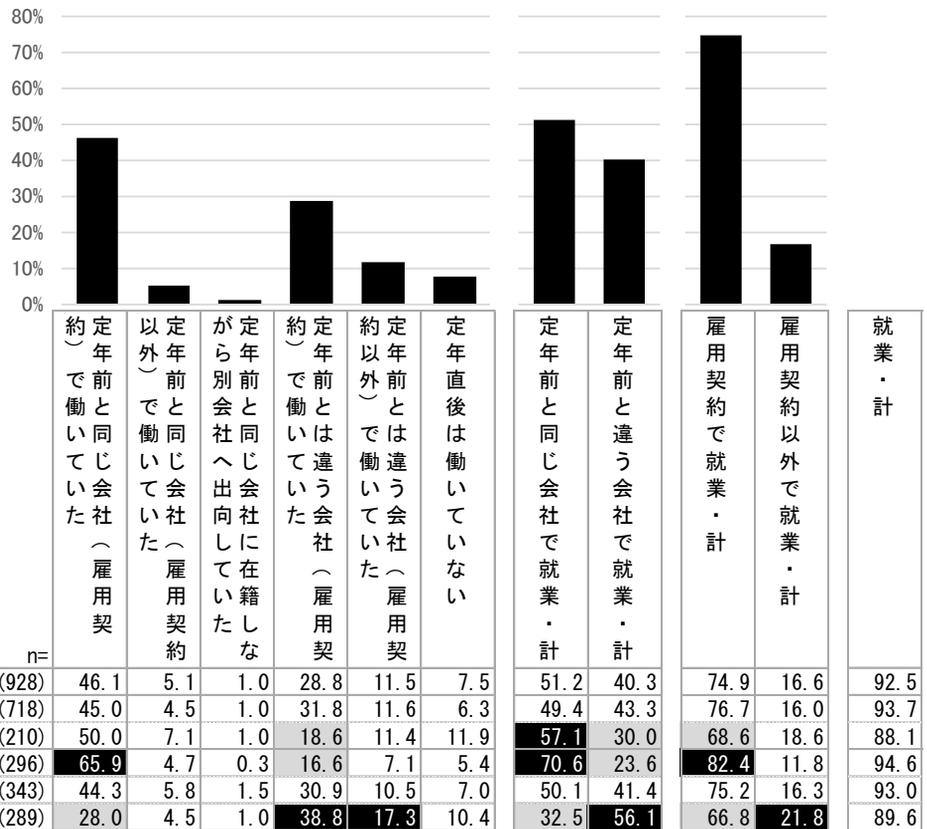


定年直後の就業状況

- 定年直後も就業していた人は全体で92.5%。本レポートは現在就業中の人を分析対象としているため、残りの1割弱は定年を機に一度仕事を離れたものの、再就職をしていることになる。
- 全体では定年前と同じ会社で就業していた人が半数を占め、現在の年齢が高い人の方が、定年前とは違う会社で就業していた割合が高い。また、雇用契約で就業していた割合が全体では74.9%であるが、現在の年齢が高い人ほどその割合は低い。

Q. 定年直後の就業状況について教えてください。

(単一回答)【対象：全員】



【参考】高齢者雇用安定法の改正内容

2013年改正：65歳までの雇用確保が義務化

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/koureisha/topics/tp120903-1.html

2021年改正：70歳までの就業確保が努力義務化

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/koureisha/topics/tp120903-1_00001.html

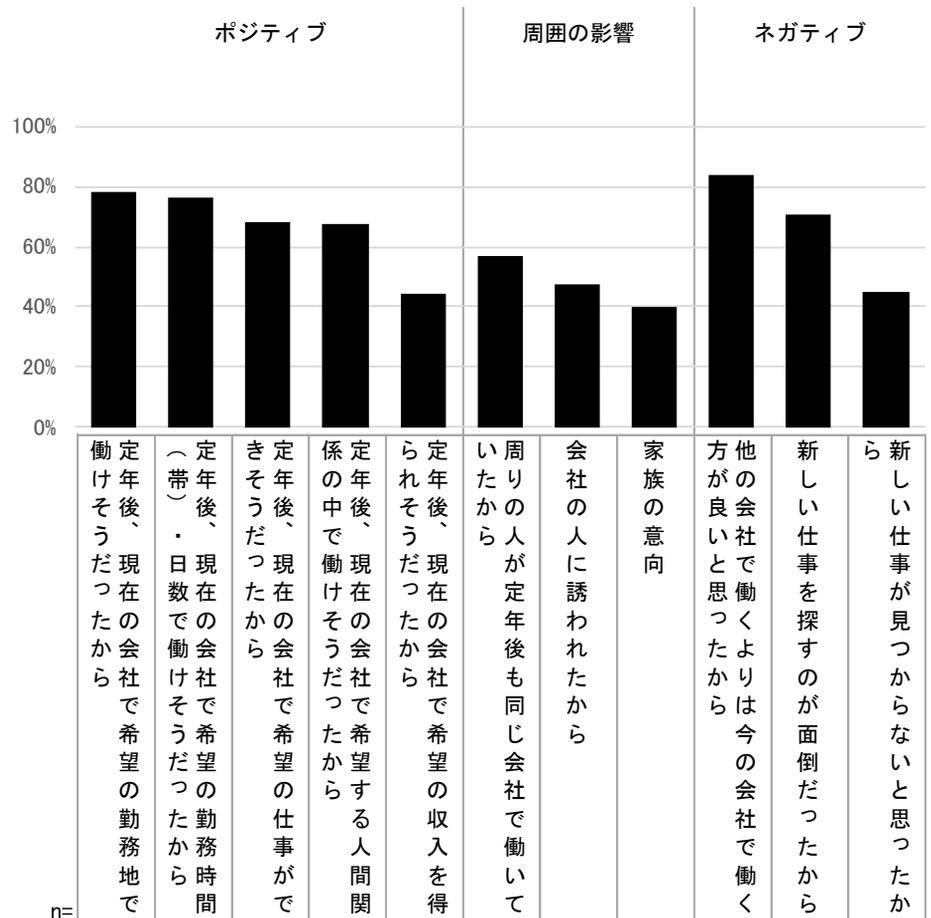
定年直後の就業状況：定年前と同じ会社で就業した理由

- 「他の会社で働くよりは今の会社で働く方が良かったから」というネガティブな理由が最も高く、「希望の勤務地で働けそうだったから」「希望の勤務時間（帯）・日数で働けそうだったから」といったポジティブな理由が続く。「新しい仕事を探すのが面倒だったから」も7割を超えている。

Q. 定年直後に定年前と同じ会社で就業した理由を教えてください。

（項目ごとに「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」から単一回答）【対象：定年直後に定年前と同じ会社で就業した人】

※表中の%は「あてはまる」「ややあてはまる」の合計



		n=	働けそうだったから	定年後、(帯)・日数で働けたから	定年後、きそうだったから	定年後、係の中で働けたから	定年後、収入を得たから	周りの人が定年後も同じ会社で働いてくれたから	会社の人に誘われたから	家族の意向	方が良いと思ったから	他の会社で働くよりは今の会社で働く方が良かったから	新しい仕事を探すのが面倒だったから	新しい仕事が見つからないと思ったから
全体		(475)	78.1	76.0	68.4	67.4	44.4	56.8	47.6	40.0	83.8	70.7	70.7	44.8
性別	男性	(355)	78.3	73.8	68.2	68.2	42.5	55.8	45.9	42.0	83.7	71.0	71.0	43.4
	女性	(120)	77.5	82.5	69.2	65.0	50.0	60.0	52.5	34.2	84.2	70.0	70.0	49.2
現在の年齢	60-64歳	(209)	77.5	71.8	67.5	61.7	38.8	51.2	40.7	40.2	82.8	69.4	69.4	47.4
	65-69歳	(172)	76.2	76.2	69.2	69.2	43.6	62.2	54.1	39.0	85.5	72.7	72.7	46.5
	70-74歳	(94)	83.0	85.1	69.1	76.6	58.5	59.6	51.1	41.5	83.0	70.2	70.2	36.2

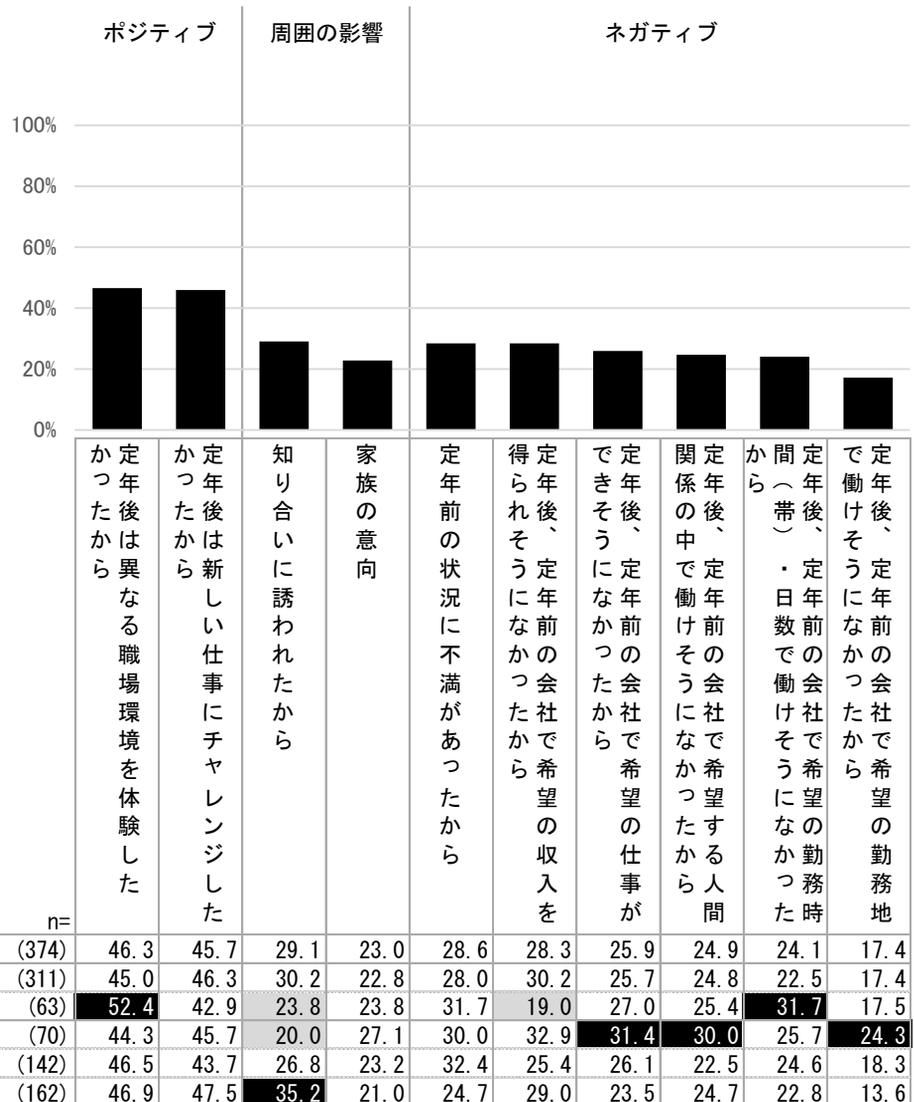
定年直後の就業状況：定年前と違う会社で就業している理由

- 前ページと同じ会社で就業している理由と比較して、全体的に「あてはまる」「ややあてはまる」の割合が低い、「異なる職場環境を体験したから」「新しい仕事にチャレンジしたから」といったポジティブな理由が高い。
- ネガティブな理由はいずれも3割未満であることから、定年前の会社に不満があったために違う会社を選んだというよりも、定年前と同じ会社で働き続けたいという意向はあったものの、その選択肢がなかった可能性が考えられる。

Q. 定年直後に定年前と違う会社で就業した理由を教えてください。

(項目ごとに「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」から単一回答)【対象：定年直後に定年前と違う会社で就業した人】

※表中の%は「あてはまる」「ややあてはまる」の合計

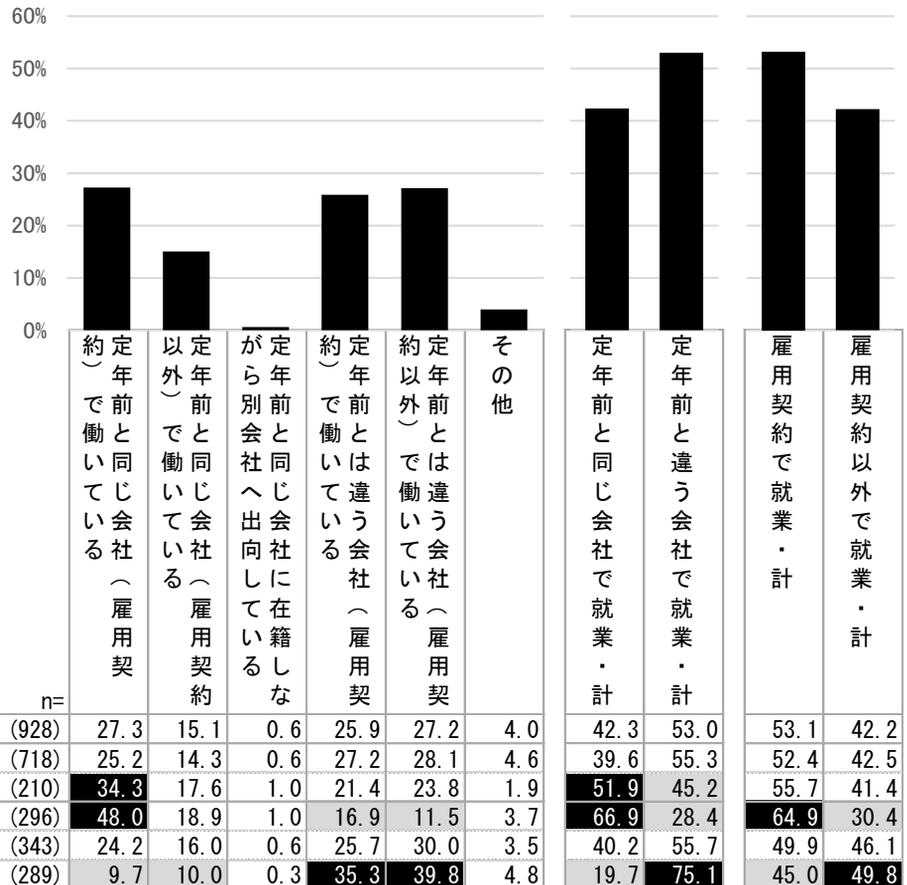


現在の就業状況

- 前ページまでは定年直後の就業状況についての設問だったが、本設問では「現在の就業状況」について聞いている。
- 定年直後は「定年前と同じ会社で就業・計」の方が高かったが、現在は「定年前と違う会社で就業・計」の方が高い。また、定年直後の就業状況と比べると、「雇用契約以外で就業・計」が増えている。

Q. 現在の就業状況について教えてください。

(単一回答)【対象：全員】

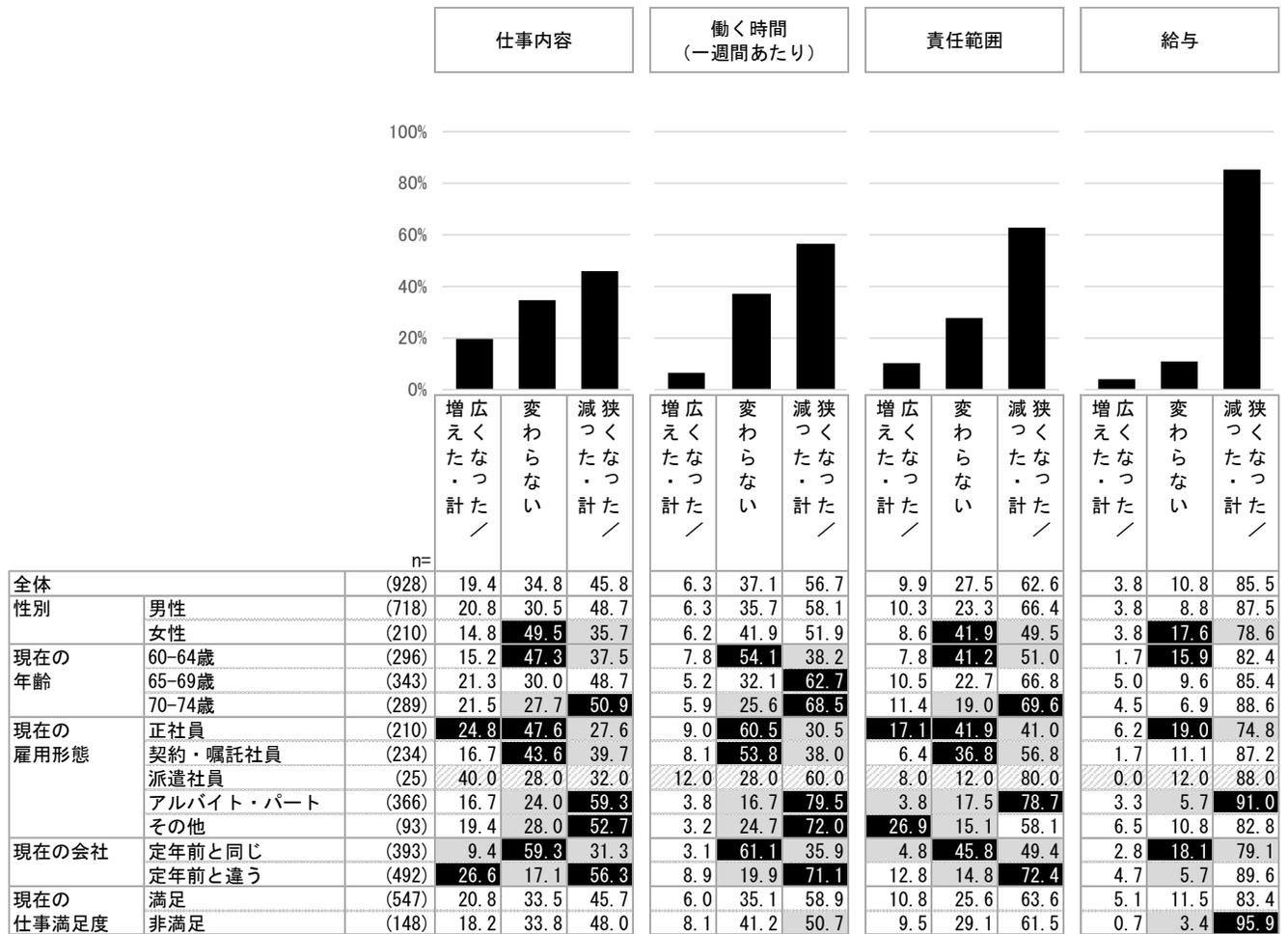


定年前と現在の働き方の変化

- 全ての項目において、「狭くなった／減った・計」の割合が高い。特に給与に関しては、「狭くなった／減った・計」が9割近くとなっている。

Q. 定年前と現在で働き方に変化はありましたか。以下の項目について教えてください。

(項目ごとに「広くなった／増えた」「やや広くなった／やや増えた」「変わらない」「やや狭くなった／やや減った」「狭くなった／減った」から単一回答)【対象：全員】



※ 「広くなった／増えた・計」は「広くなった／増えた」「やや広くなった／増えた」の合計、「狭くなった／減った・計」は「狭くなった／減った」「やや狭くなった／やや減った」の合計。

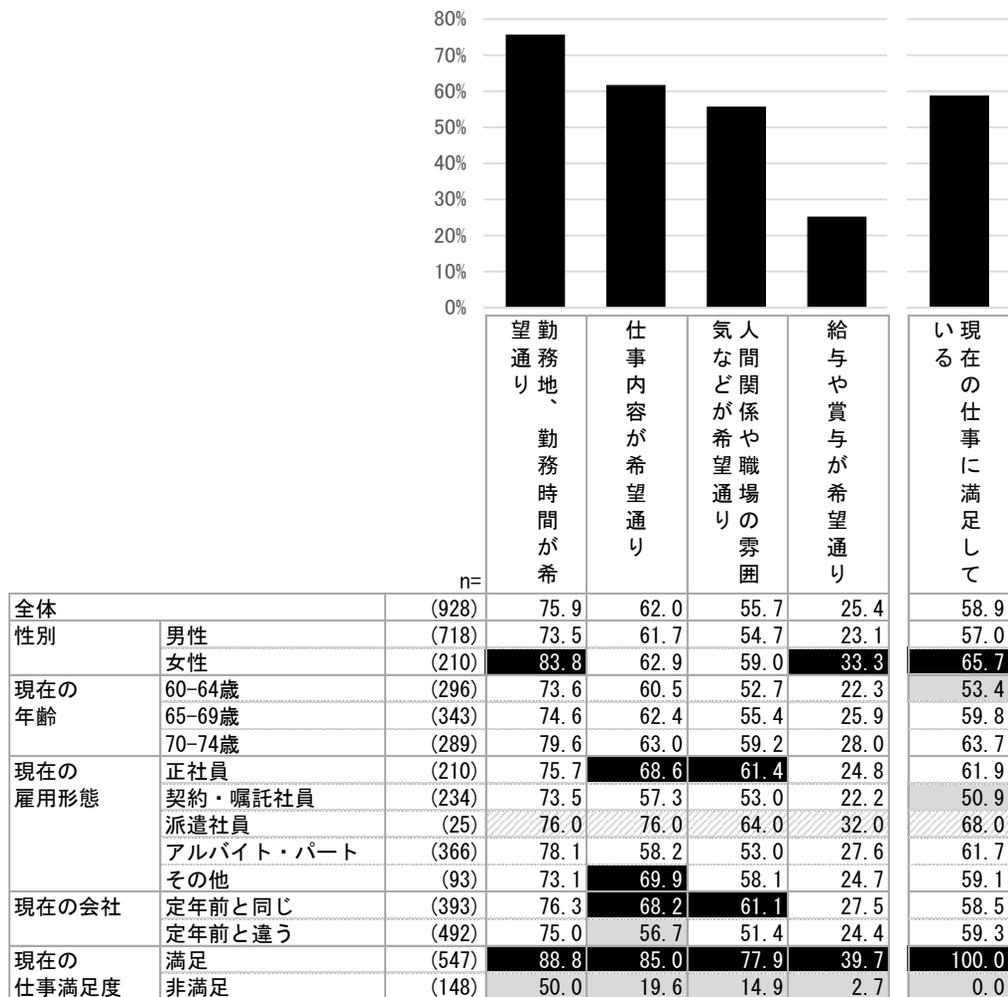
※ 「現在の仕事満足度」は「現在の仕事に満足している」(P8参照)に「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人を「満足」、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」と回答した人を「非満足」としている(以降のページも同様)。

現在の仕事満足度①

- 「勤務地、勤務時間が希望通り」が最も高く75.9%。「給与や賞与が希望通り」は最も低く25.4%。定年前と同じ会社で就業している人の方が、仕事内容や人間関係・職場の雰囲気希望通りの割合が高い。
- 給与のみ減少した人とそうでない人とでは、現在の仕事満足度に差がある（下図）。

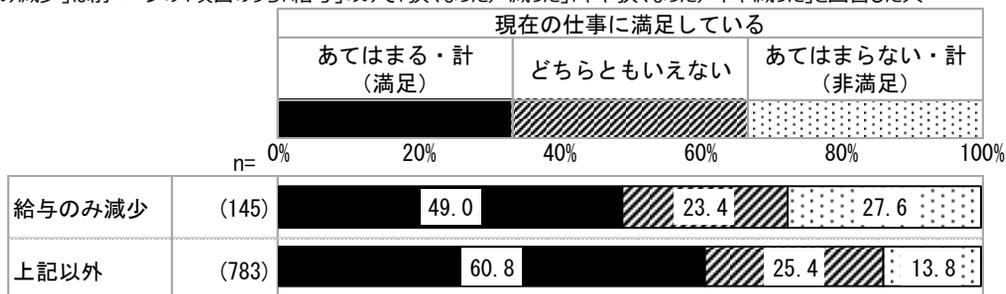
Q. 現在の仕事について、それぞれ一つずつ教えてください。

（項目ごとに「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」から単一回答）【対象：全員】
※表中の％は「あてはまる」「ややあてはまる」の合計



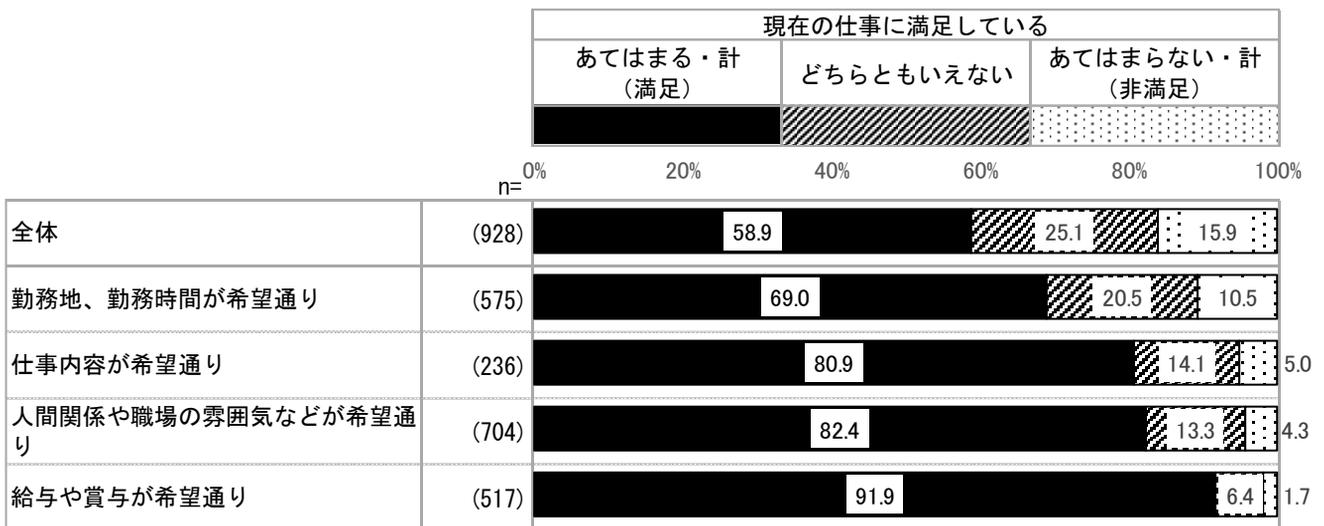
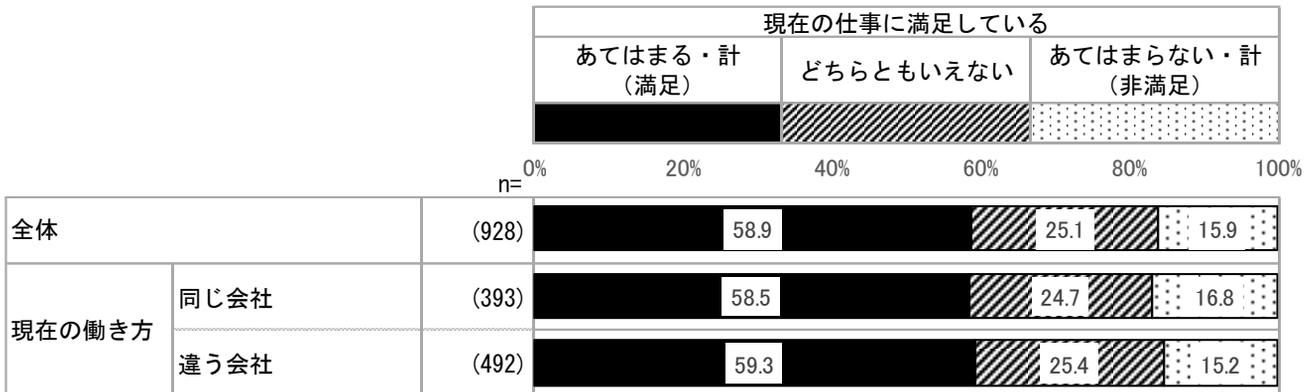
▼給与のみ減少した人の現在の仕事満足度

※ 「給与のみ減少」は前ページの4項目のうち「給与」のみで「狭くなった/減った」「やや狭くなった/やや減った」と回答した人



現在の仕事満足度②

- 前ページのうち、「現在の仕事に満足している」の結果を、現在の会社別に表したものが上図。その他の項目別に表したものが下図。
- 定年前と同じ会社で就業しているか否かによって、現在の仕事満足度に大きな差は見られない（上図）。
- 給与や賞与、人間関係や職場の雰囲気、仕事内容が希望通りであれば仕事満足度も高い。一方、勤務地、勤務時間が希望通りでも仕事満足度は他と比べて低い（下図）。ただし、別設問で聴取した「仕事探しの重視項目」においては、勤務地が1位となっており、シニア就業者にとって希望通りの勤務地で働けることは最低条件のようである【参考】。



【参考】仕事探しの重視項目 上位10項目

(項目ごとに「重視する」「やや重視する」「どちらともいえない」「あまり重視しない」「重視しない」から単一回答)【対象：全員】

※表中の%は「重視する」「やや重視する」の合計

		勤務地	仕事内容	通勤時間(通いやすさ)	職場の雰囲気、人間関係	給与	職種	勤務日数(休日数)	勤務時間数	会社の安定性	勤務日(休日)
全体	(928)	86.3	85.0	84.9	78.8	77.6	76.8	76.8	75.0	70.0	68.6
性別	男性 (718)	84.8	84.3	83.0	76.3	75.1	75.9	75.5	72.6	67.4	67.4
	女性 (210)	91.4	87.6	91.4	87.1	86.2	80.0	81.4	83.3	79.0	72.9
現在の年齢	60-64歳 (296)	86.1	82.4	85.5	80.1	82.8	75.0	79.1	73.0	71.6	68.6
	65-69歳 (343)	87.8	86.0	85.4	78.1	74.6	78.7	75.5	76.4	67.6	68.2
	70-74歳 (289)	84.8	86.5	83.7	78.2	75.8	76.5	76.1	75.4	71.3	69.2
現在の雇用形態	正社員 (210)	86.2	89.0	86.7	82.4	81.4	83.8	81.4	75.7	79.0	78.1
	契約・嘱託社員 (234)	84.6	81.2	82.1	80.8	81.6	76.5	79.1	73.9	73.9	67.9
	派遣社員 (25)	80.0	88.0	80.0	68.0	84.0	72.0	68.0	64.0	60.0	56.0
	アルバイト・パート (366)	88.0	84.4	86.9	78.7	74.0	74.6	76.2	78.7	66.4	65.6
	その他 (93)	86.0	87.1	81.7	68.8	71.0	72.0	65.6	64.5	57.0	64.5

反転シロヌキ ...全体の数値より5ポイント以上大きい 灰色アミカケ ...全体の数値より5ポイント以上小さい グレー斜線 ...回答者数が30未満 (参考値)

定年後やシニア期の就業に向けた準備

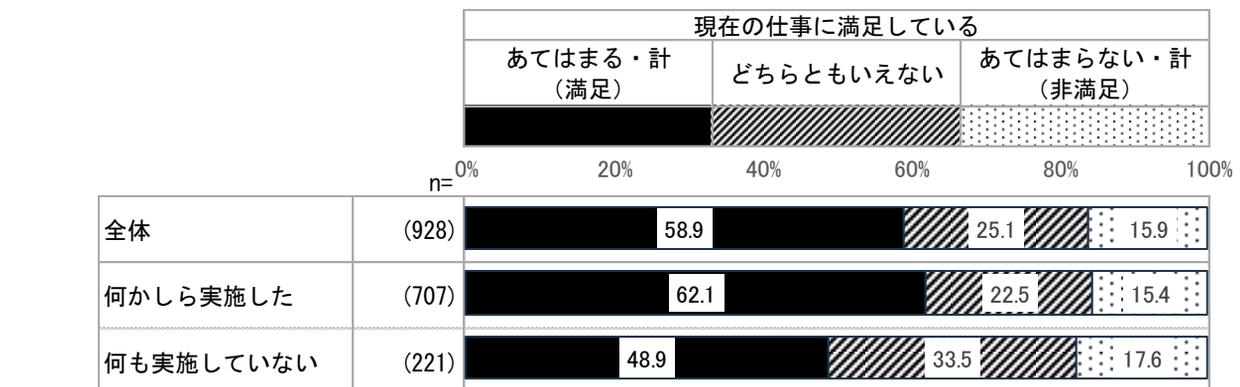
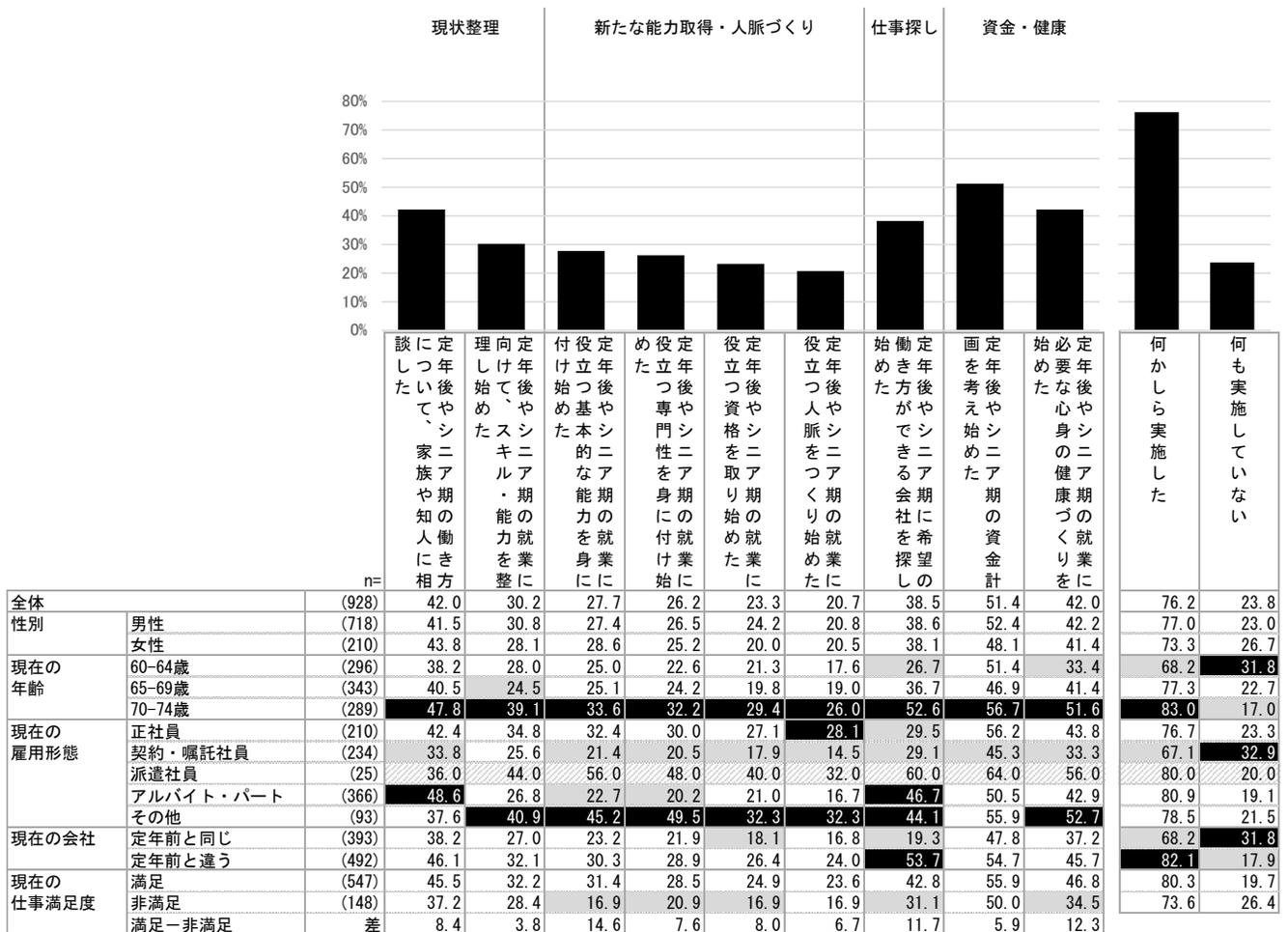
- 「資金計画を考え始めた」が最も高く51.4%、「働き方について、家族や知人に相談した」「心身の健康づくりを始めた」がいずれも42.0%と続く。
- 現在の仕事満足度別で見ると、満足と非満足の差が大きいのは、「基本的な能力を身に付け始めた」「心身の健康づくりを始めた」「希望の働き方ができる会社を探し始めた」。
- 何かしら実施した人と、何も実施していない人では、現在の仕事満足度に差が見られる（62.1%対48.9%）。このことから、就業準備がシニア期の仕事満足度に影響を与えていることが分かる。

Q. 定年後やシニア期の就業に向けて、以下の中にこれまで実施したものはありますか。

（項目ごとに「50代以前に実施した」「50代前半で実施した」「50代後半で実施した」「60代前半で実施した」「60代後半で実施した」「70代になってから実施した」「これまで実施していない」から単一回答）【対象：全員】

※ 表中の各項目の％は「50代以前に実施した」「50代前半で実施した」「50代後半で実施した」「60代前半で実施した」「60代後半で実施した」「70代になってから実施した」の合計

※ 「何かしら実施した」は1つ以上の項目で「実施した」人の割合。「何も実施していない」は全ての項目で「これまで実施していない」を選んだ人の割合



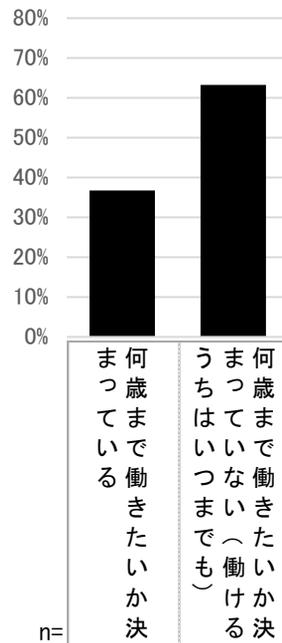
反転シロ抜き ...全体の数値より5ポイント以上大きい 灰色アミカケ ...全体の数値より5ポイント以上小さい グレー斜線 ...回答者数が30未満 (参考値)

何歳まで働きたいか①

- 「何歳まで働きたいか決まっている」36.6%に対して、「何歳まで働きたいか決まっていない（働けるうちはいつまでも）」の方が63.4%と高い。特に、70-74歳でその傾向が強い。
- また、定年前とは違う会社で就業している人の方が、「何歳まで働きたいか決まっていない（働けるうちはいつまでも）」が高い。定年がない会社やシニア雇用に積極的な会社を探した上で、現在の会社を選んでいる可能性があると考えられる。

Q. あなたは何歳まで働きたいか決まっていますか。

(単一回答)【対象：全員】



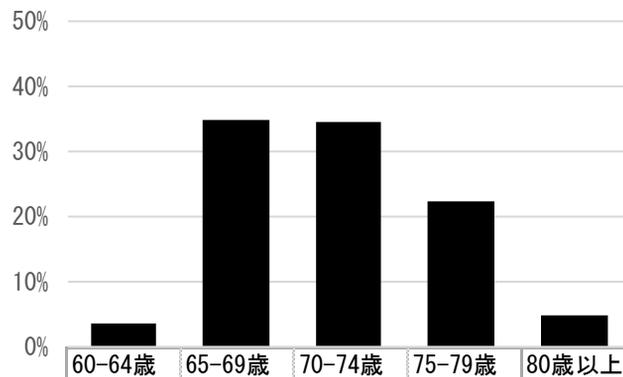
		n=	ま何歳まで働きたいか決まっている	うま何歳まで働きたいか決まっていない（働けるうちはいつまでも）
全体		(928)	36.6	63.4
性別	男性	(718)	36.8	63.2
	女性	(210)	36.2	63.8
現在の年齢	60-64歳	(296)	51.7	48.3
	65-69歳	(343)	33.5	66.5
	70-74歳	(289)	24.9	75.1
現在の雇用形態	正社員	(210)	42.4	57.6
	契約・嘱託社員	(234)	43.6	56.4
	派遣社員	(25)	36.0	64.0
	アルバイト・パート	(366)	33.9	66.1
	その他	(93)	17.2	82.8
現在の会社	定年前と同じ	(393)	45.3	54.7
	定年前と違う	(492)	31.5	68.5
現在の仕事満足度	満足	(547)	36.2	63.8
	非満足	(148)	39.2	60.8

何歳まで働きたいか②

- 何歳まで働きたいか決まっている人にその年齢を聞いたところ、全体では現年齢に対して平均+4.3歳であった。
- 現在の会社別では、定年前と違う会社で就業している人は現年齢+4.9歳と、より長く働きたいと考えている。
- 現在の仕事満足度別では、満足している人は現年齢+4.4歳と、より長く働きたいと考えている。

Q. あなたは何歳まで働きたいと思いますか。

(数値回答)【対象：何歳まで働きたいか決まっている人】



		n=	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	平均 (歳)	差分 (歳)
全体		(336)	3.6	34.8	34.5	22.3	4.8	70.1	4.3
性別	男性	(263)	4.6	33.8	33.8	23.2	4.6	70.1	4.2
	女性	(73)	0.0	38.4	37.0	19.2	5.5	70.1	4.4
現在の年齢	60-64歳	(153)	7.8	66.7	22.2	2.0	1.3	66.6	4.4
	65-69歳	(115)	0.0	13.0	61.7	20.0	5.2	71.5	4.5
	70-74歳	(68)	0.0	0.0	16.2	72.1	11.8	75.3	3.6
現在の雇用形態	正社員	(89)	3.4	49.4	33.7	11.2	2.2	68.5	3.9
	契約・嘱託社員	(102)	6.9	50.0	22.5	16.7	3.9	68.5	4.2
	派遣社員	(9)	0.0	0.0	77.8	22.2	0.0	71.7	4.9
	アルバイト・パート	(120)	1.7	18.3	40.0	32.5	7.5	72.0	4.6
	その他	(16)	0.0	0.0	50.0	43.8	6.3	72.9	4.2
現在の会社	定年前と同じ	(176)	6.3	52.3	30.7	9.7	1.1	67.9	3.7
	定年前と違う	(153)	0.0	14.4	39.2	37.9	8.5	72.6	4.9
現在の仕事満足度	満足	(197)	2.5	33.0	33.5	25.4	5.6	70.6	4.4
	非満足	(58)	6.9	41.4	32.8	15.5	3.4	68.8	3.9

※現年齢の方が働きたい年齢より高い4人を除外している。